

引越し手伝います

障害者就労支援 新たな道

障害者の就労を支援する七尾市袖ヶ江町の就労継続支援B型事業所「ばいんの家」が十四日から二日間、JR七尾駅前の複合商業施設パトリアにあった百円ショップ「シルク」の移転作業を手伝っている。運送会社との連携で受注した初の仕事で、事業所職員は「今後も一般企業と協力して仕事を請け負い、利用する障害者の所得向上につなげたい」と期待を込める。

精神、知的障害がある事業所の利用者と職員ら計二十五人



ショップの引越し作業を進める事業所利用者ら＝七尾市御成町で

七尾 運送会社と連携

が、声を掛け合いながら素早く作業を進めた。障がい福祉サービス事業所ゆの丘（同市矢田町）の利用者も手伝い、二階の商品棚などを一階の搬出口まで運んだ。

それを同市万行町の運送会社「滝の川運輸」のトラックで市内にある倉庫まで運んだ。ショップの代表、吉川慎太郎さん（四七）は「作業は想像以上に早い。頼むはずだった人材派遣会社より費用も安く助かっている」と喜んだ。

滝の川運輸の滝川嘉明専務（四四）が、二日に閉店したショップから引越し業務を依頼されたが、二階からトラックまで荷物を運ぶ人手が足りなかった。七尾商工会議所の木谷昌平所長（三九）に頼み、共同で仕事を請け負うことになった。

普段はキー作りをする事業所利用者の工賃は通常一カ月で一萬二、三千円程度だが、今回は県の最低賃金以上の収入だったという。木谷所長は「この賃金の大きさはすごいこと。今後も人手の豊富さを生かして面倒な隙間の仕事に参加していきたい」と意気込んだ。

（中川絃希）

お茶の作法見てわ
園児9人親に披露

七尾・こども園

七尾市袖ヶ江みなど
も園の園児が保護者と一
にお茶を体験する「おや
お茶会」が十三日、同市
ヶ江地区コミュニティヤ
ターであり、園児九人が
年間で身に付けた茶の作
を親に披露した。

昨年四月から毎月、園
は表千家教授の川上俊子
んの指導を受けており、

温かい聞き手に
傾聴のコツ学ぶ

志賀で講演へ

傾聴について学ぶ講演
が十四日、志賀町地域交
センターであり、ボラン
ティア活動に携わる町民ら
十五人が、温かい聞き手
なるコツを学んだ。



傾聴について考えを深める参加者ら＝志賀町地域交流センターで